

熊本県・八代トマト流通センターとの トマトにおける共同試験

生産者： 八代トマト流通センター

住所： 熊本県八代市古閑浜町

品種： みそら

台木： グリーンセーブ

定植日： 平成24年10月10日

撮影日： 平成24年11月24日



撮影日：平成24年11月24日

セル区



慣行区



撮影日：平成24年11月24日

セル区



慣行区



撮影日：平成25年1月7日

セル区



慣行区



撮影日：平成25年2月18日



セル区



慣行区

・セル区では慣行区と比べ、着果数が多く、収穫段数が0.5～1段早くなっている。

■コメント(平成23年度)

- ・セル区では慣行区と比べ、**135%の大幅な収量増**を達成した。
- ・セル区では着果率が高く、果実肥大も良好だった。
- ・セル-ストロングシリーズを葉面散布すると、葉の厚みが増し、艶が良くなった。株疲れが軽減し、また、病気の発生率も低減した。
- ・収穫の早期化が実現した。



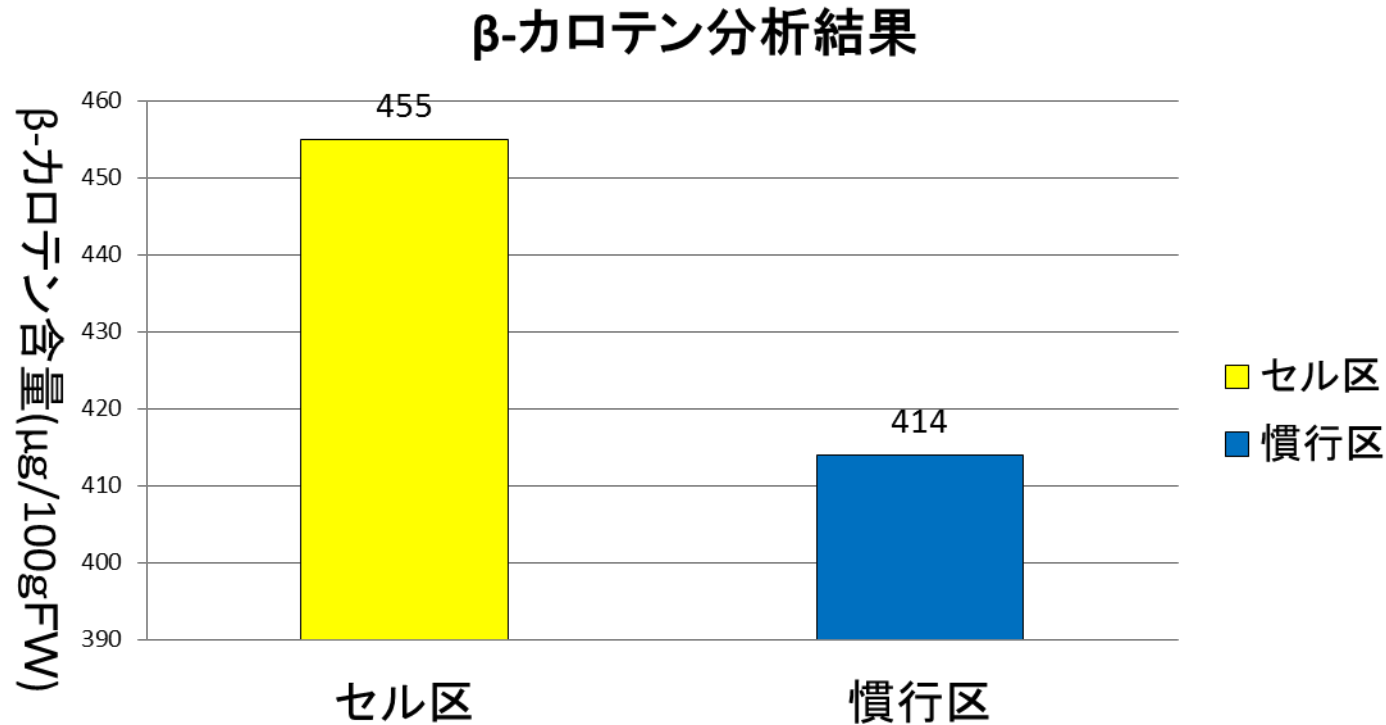
平成24年度の資材として採用が決定。



■コメント(平成24年度)

- ・平成24年度は11月、12月に天候不順が見られたものの、平成23年度と同様に着果率が高く、果実肥大も良好であった。**慣行区比130%の収量増**。
- ・平成23年度と同様に、葉面散布をすることで葉の厚みや艶が増し、目に見えて効果が出た。
- ・セル区では、2月の段階で収穫段数が慣行区よりも0.5~1段早く、着果負担を軽減させることが出来た。(収穫の早期化→1段程度)

機能的成分 分析結果< β -カロテン>

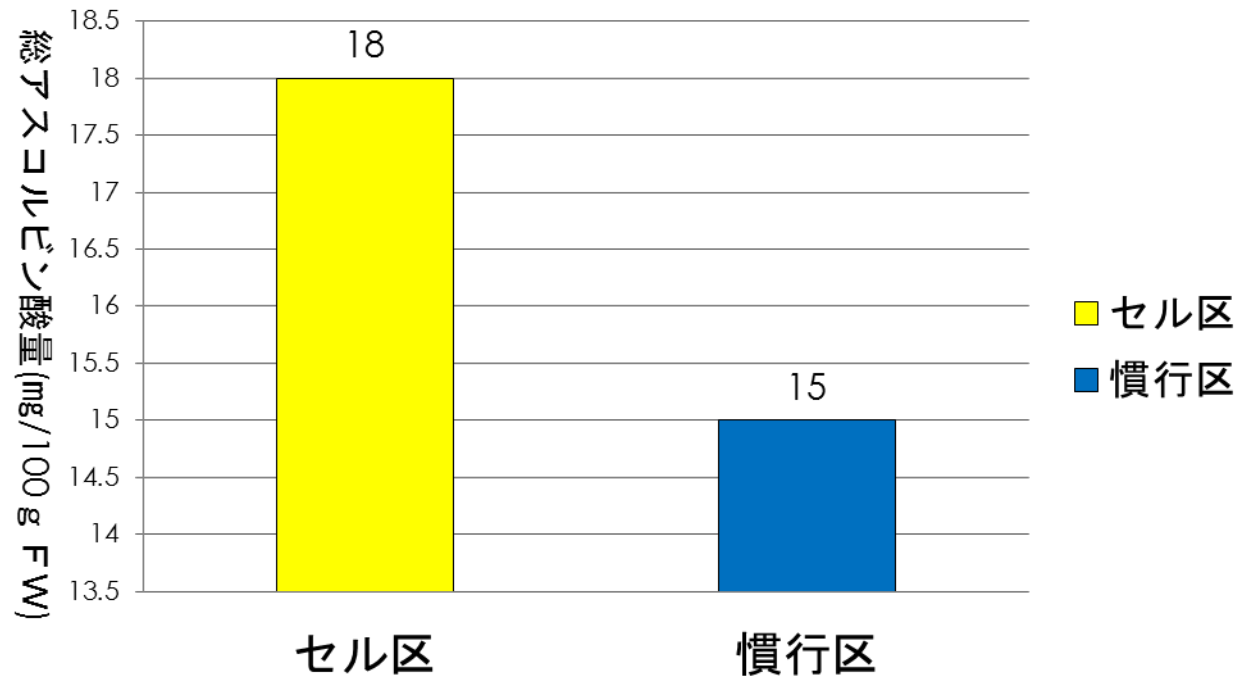


セル区で慣行区の**110%**を達成！

※ β -カロテンの機能・・・体内で必要量がビタミンAに変換され、疲れ目防止、皮膚や粘膜強化による免疫力維持に効果がある。血中の β -カロテンは**生活習慣病や動脈硬化の予防、ガン予防**に高い効果がある。

機能的成分 分析結果<総アスコルビン酸>

総アスコルビン酸分析結果



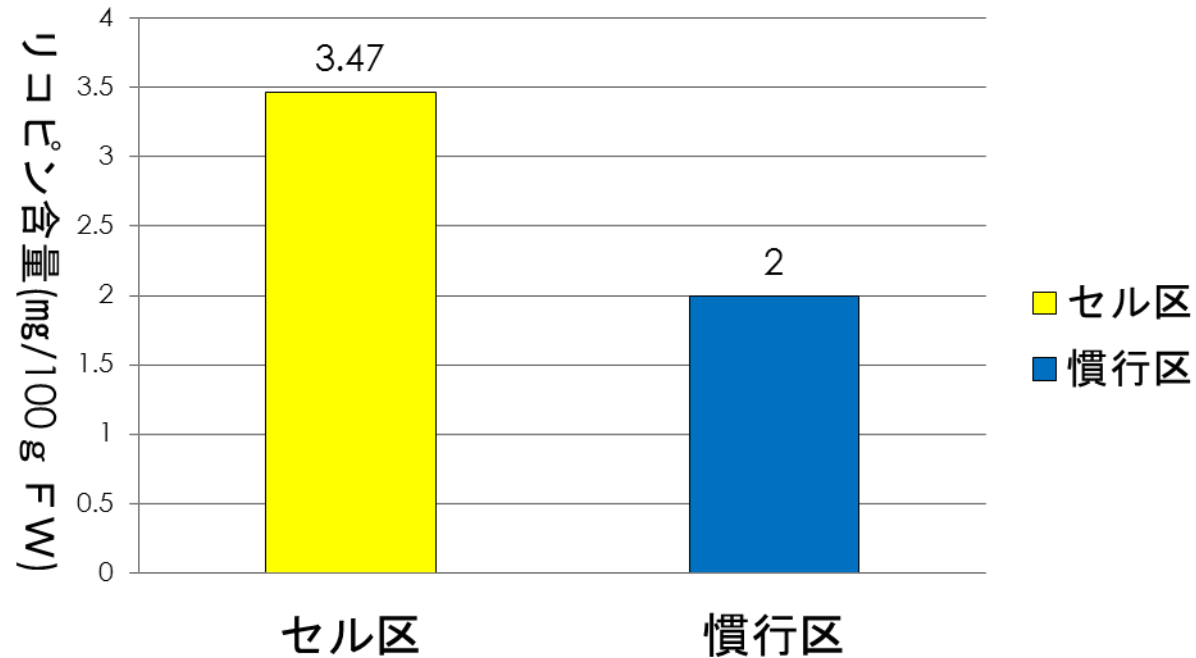
セル区で慣行区の**120%**を達成！

※アスコルビン酸(ビタミンC)の機能性

- ・・・強力な抗酸化作用により、酸化防止剤として食品に使用されることもある。体内ではコラーゲンの合成、鉄分の吸収促進、ガン予防などの効果を発揮する。

機能性成分 分析結果<リコピン>

リコピン分析結果

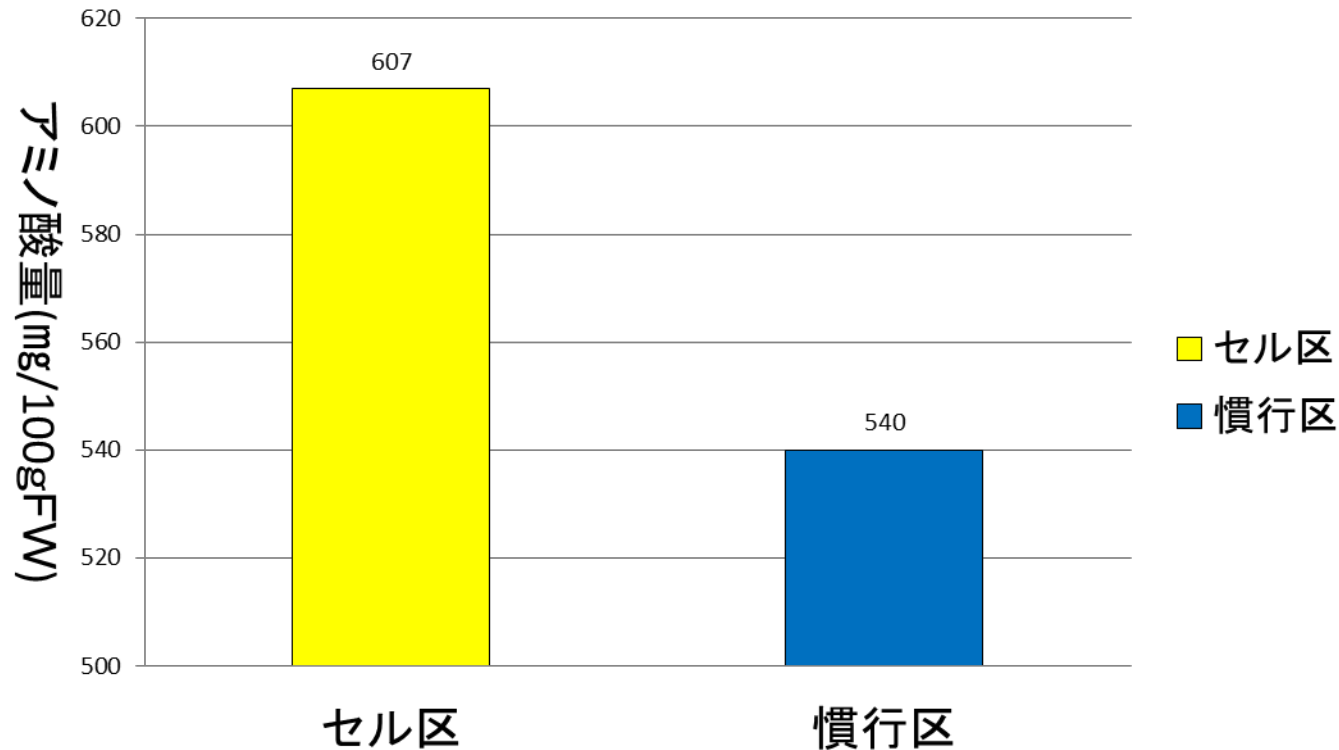


セル区で慣行区の**174%**を達成！

※リコピンの機能・・・活性酸素を除去する効果が β -カロテンの約2倍あり、生活習慣病の予防、老化防止、ガン予防に高い効果がある。

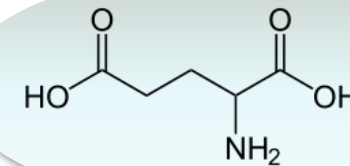
アミノ酸 分析結果

アミノ酸分析結果

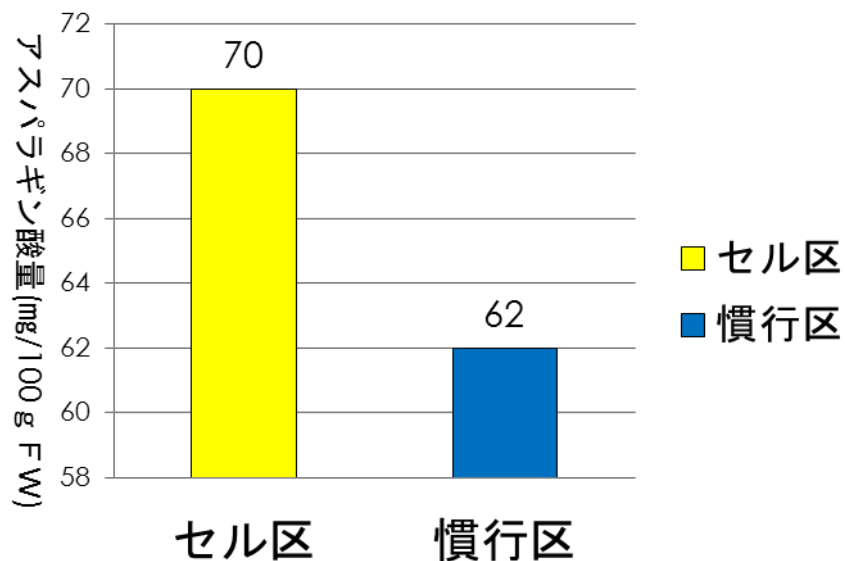


※ただし、上のアミノ酸量は必須アミノ酸に加え、アルギニン・チロシン・アラニン・グリシン・プロリン・グルタミン酸・セリン・アスパラギン酸・シスチンの18種類のアミノ酸の合計両を示している。

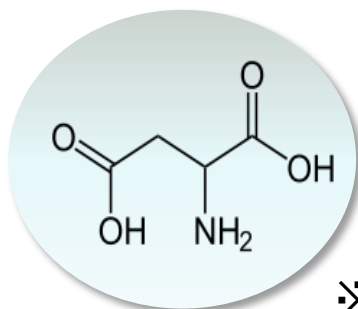
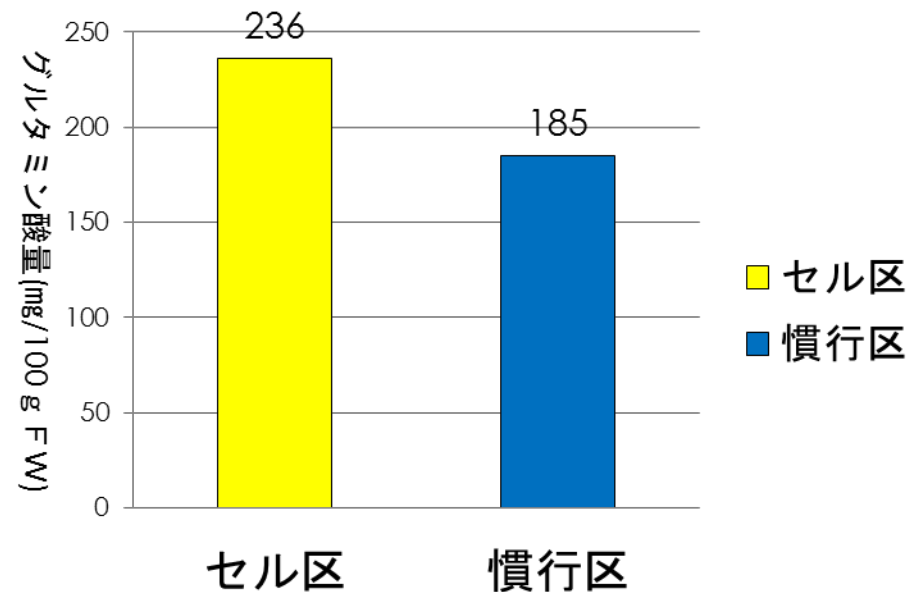
アミノ酸 分析結果



アスパラギン酸分析結果



グルタミン酸分析結果



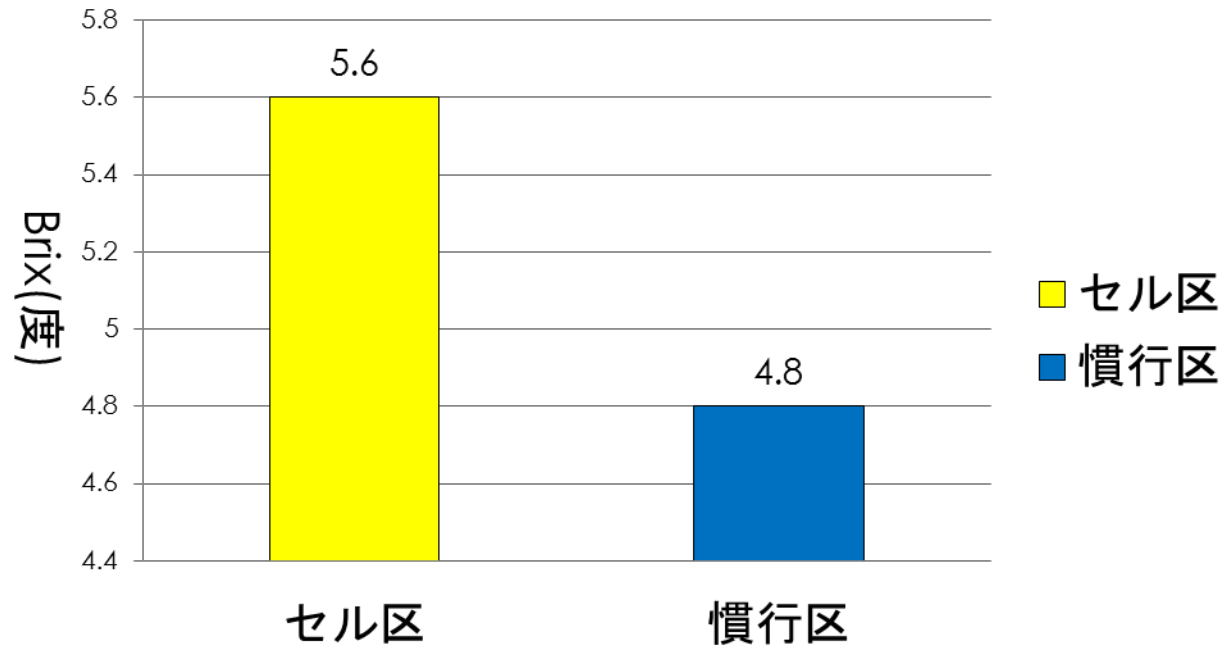
セル区で慣行区の
113%達成！

セル区で慣行区の
128%達成！

※グルタミン酸とうま味成分(アスパラギン酸等)を組み合わせること
でうま味が飛躍的に向上することが知られている。

Brix 分析結果

Brix の比較



セル区は慣行区の**1.2倍**！